



〒892-0841 鹿兒島市照国町13-42 カトリック鹿兒島司教区 電話099(226)5100 振込口座 02030-2-8359 編集発行 教区広報部 1部60円年間千共1100円

道標



司祭評議会など新メンバーでスタート

各担当司祭等も見直され発表

五月九日(月)教区本部であった司祭評議会は、任期満了に伴い改選された新委員や役職上新たに委員に加わった新メンバーで話し合いがもたれ、教区組織のメンバーや活動団体等の担当司祭などの検討を行い、翌日の定例司祭集会(コンベンツス)で次のように発表された。

- 地区長 盛克志神父(レダンプートル会地区)、永山幸弘神父(奄美大島地区)
- 司祭評議会 郡山健次郎司教(会長)、小川靖忠神父(副会長)、寝占敦之(事務局長)、盛克志神父、石田望神父、永山幸弘神父、牧山田一神父、中野裕明神父、サンタマリア神父、柳本繁春神父(以上、評議員)
- 教区顧問(司教任命) 盛克志神父、中野裕明神父、小川靖忠神父、美島春雄神父、小隈憲士神父(書記:寝占敦之)
- 経済問題評議会 郡山健次郎司教(会長)、小川靖忠神父(副会長)、中野裕明神父、美島春雄、盛克志神父、永山幸弘神父、寝占敦之神父、川口茂助祭、森山茂知氏、中野三郎(以上、評議員)
- 「宗教法人カトリック鹿兒島司教区」責任役員会(司教任命) 郡山健次郎司教(代表役員)、田原章神父、中野裕明神父、美島春雄神父、小川靖忠神父(以上、責任役員)、(書記:寝占敦之)
- 教区裁判所 ハンマ神父(法務代理)、永山幸弘(裁判官)、竹山昭神父(絆の保護官)、ロベルト神父、寝占敦之神父(公証官)
- 検閲者 竹山 昭神父
- その他の委員会・担当・顧問(先頭が責任者)
 - ▼委員会
 - ①教区典礼委員会 寝占

新風

本部での生活も二か月余り、幾つかの「会」にも参加させていただいた。そのすべての会で司教さまの心「それでも」が生きていると感じる。参加者が少なくても、それでも大丈夫。小さな無理解があっても、それでも前向きに。それでも精神は常にイエスの思い「神さまを愛し、隣人を愛する」(マルコ十二・28-31)と固く結ばれているのである。

四月から六月は変化の季節、皆さまの教会でも新しい神父さまが来られたり、新しい信徒会長が決まったり、何か新しい風、それこそ「新風」が吹く時期である。私はかつて

それでも

の教会でもとても貴重な体験をさせていた。司祭として「自由」を思う存分味わったのである。自由とは言っても「遊び回る」の意味ではない。司祭としてやるべきことを「喜びの中にすべて成しえた」の意味である。言葉ではなかなか説明できないが、そこにはいつも信頼関係があったように思う。その土台は「それでも」の心である。信頼があるところには必ずその倍ほどの「許し合い」が繰り広げられる。許す心の満ちた共同体には失敗を恐れない挑戦が始まる。

その挑戦は常に宣教に、そして共同体で弱い人の立場に立って物事を決めていくことに結実していく。その教会で、韓国の信者が叫んだ言葉が脳裏から離れない。「神父さん、どうして日本では駅前デリラを配らないの。私の国ではミサの時間とかを伝えるために、教会のお知らせを配っていた」変化の季節、新しい風の吹く季節、皆さまと一緒に自由を味わい、「それでも」の精神に養われながら、何か新しい挑戦を始めてみたい。そこには、たぶん今まではなかった違う。しかし予想していた信仰の喜びと信仰の醍醐味が待っているに違いない。(教区本部・寝占敦之)

神学生養成費への協力を

教区経済問題評議会

教区経済問題評議会が五月十五日(日)午後、教区本部で開かれ、二〇一〇年度の決算と二〇一一年度の予算等を審議した。今年の会議で特筆されるべきは、これまで別に扱われてきた「教区司祭地区会計」を廃止し、教区会計に

組み入れたこと。このことにより、教区会計の仕組みが簡略化され、説明しやすくなった。またこの日の会議では教区会計が二〇〇七年から始められた一口五百円の正常化献金がなければ成り立たないことが確認されたが、これにも増して「神学生養成費」の窮乏が明らかにされた。それによると、年間千八百万ほどかかる神学生養成費を捻出するために、今年度は教区費から補填しなければ予算を立てることができなかつた。教区では現在韓国に三人、スペインに一人、フィリピンに一人の大神学生を送って養成している。また長崎コレジオに一人、小神学生一人もいるほか、神学生候補者一人も将来の司祭を目指している。教区会計部では、将来を担う神学生養成のためにその養成費への理解と協力を求めたいとしている。

- ① 青少年司牧 泉浩二神父、末吉卓也神父、石田望神父
- ② カリタスジャパン 川口茂助祭
- ③ エキュメニズム 桃菌 淳一郎助祭
- ④ 正義と平和協議会 寝占敦之神父
- ⑤ 滞日外国人 ベルナルディーノ神父、ロベルト神父、タム神父(種子島)、アン神父(奄美大島)、大松正弘神父(徳之島)
- ⑥ 教誨師 坂本進神父
- ⑦ 教区召命 末吉卓也神父、泉浩二神父、ベルナルディーノ神父、寝占敦之神父

- ⑧ 宣教奉仕者養成 永山幸弘神父
- ⑨ 宣教学校 久保俊弘助祭、寝占敦之神父
- ⑩ 諸宗教懇和会 寝占敦之神父、小隈憲士神父(会の名称は検討中)
- ⑪ 愛の泉 久保俊弘助祭
- ⑫ 教区巡礼委員会 寝占敦之神父、中野裕明神父(会の名称は検討中)
- ▼顧問司祭
 - ① レジオ・マリエ ティエン神父(鹿兒島コミチウム)、名瀬クリア 松永正男神父
 - ② 鹿兒島連合壮年 丸野

- ③ 奄美連合壮年 平孝之神父
- ④ 看護協会 丸野六雄神父 医師会 ムイベルガ神父
- ⑤ 修道女連盟 竹山昭神父(鹿兒島地区)、柳本繁春神父(奄美地区)
- ⑥ 教区教師の会 竹山昭神父(大学)、中野裕明神父(小中高)
- ⑦ 奄美カトリック女性連盟 永山幸弘神父
- ⑧ 鹿兒島きぼうの電話 竹山昭神父
- ⑨ ザビエル上陸記念祭 小川靖忠神父

- 六雄神父
- ③ 奄美連合壮年 平孝之神父
- ④ 看護協会 丸野六雄神父 医師会 ムイベルガ神父
- ⑤ 修道女連盟 竹山昭神父(鹿兒島地区)、柳本繁春神父(奄美地区)
- ⑥ 教区教師の会 竹山昭神父(大学)、中野裕明神父(小中高)
- ⑦ 奄美カトリック女性連盟 永山幸弘神父
- ⑧ 鹿兒島きぼうの電話 竹山昭神父
- ⑨ ザビエル上陸記念祭 小川靖忠神父

諸宗教懇和会設立

天文館で募金活動

「共に生き、共に和する」を理念に掲げ、各宗教者が



チラシを配る郡山司教

学園情報

▼鹿兒島純心女子大学新学長 稲井道子修道女に代わって新学長に松下栄子修道女(天辰修道院)が就任した。

▼大口明光学園新校長 三月六日(日)急逝した坂井美智代修道女に代わって新校長に重水康夫教諭が就任した。

集い、祈りと願いを共有し相互理解と協働することを目指す「鹿兒島県宗教者懇和会」が五月十三日(金)設立された。これは昨年の世界宗教者平和会議の呼びかけにこたえ、県内でも様々な宗教団体が協力して「核兵器廃絶軍縮と世界の貧困撲滅のための署名運動」(アームズダウン)に取り組んだことに端を発する。この日、鹿兒島市内のホテルで開かれた設立総会では、県内にある神道、仏教、キリスト教、新宗教など二十四の団体の加盟が確認された。また総会終了後各宗派の代表者たちは、天文館アーケードに繰り出し、街行く人々に「東日本大震災」で被災した人たちのために募金を呼びかけ、また各宗教団体のメッセージをまとめたチラシを配布し、「命を大切にしよう」「絆を深めよう」と訴えた。この日の街頭募金には、カトリック側からはスターン姿の郡山司教と寝占神父の姿があったほか、信者数人も侍者服を着て活動に協力する姿を見せた。

わたしの「それでも」

私の宝物「直樹」と歩く道

鴨池教会 角園美津代

我が家の長男・大切な宝物の直樹は、今年二十七歳の知的障害があります。私たちが親の切実なる署名活動で設置して頂いた鹿児島城西高校「共生コース」「福祉共生専攻科」を卒業後、現在、周りのたくさんの方々から支援を頂きながら、「サンエールかごしま」内の「あすなろマジック」(軽食・喫茶店)に通っています。また週二回特別養護老人ホーム「喜入の里」で働かせてもらっています。作業所の仲間や支援員と一緒に、お菓子の製造や母校の城西高校などへの販売にも頑張っています。また仲間やボランティアの学生さんと一緒に旅行、遠足、バスケット、またカラオケに温泉など、毎日楽しく元気に青春しています。また六月にはグアムにも行きます。

今、あらためて直樹と生きた時間を振り返ってみたいと思います。今までに出会い、かわって下さったたくさんの方々への感謝を込めて。

直樹は二歳を過ぎてもなかなか言葉が出なかったのですが、私は不安ながらも皆が「男の子は言葉が遅いから」と言っただけで、希望に、そのうちに...と思いつきながら児童センターに月に二回通いました。三歳になつてすぐ上半身を火傷し二か月入院。一年半ほどは包帯を巻いた生活で、直樹は白衣を見ただけで泣き叫んでいました。また周りの子どもたちと一緒に遊ぶ、一人遊びが多い日々で、

偏食も凄いなものでした。当時の聖母幼稚園は人気あつて、募集開始日に並ばないと入園できないほどで、父親は前の晩の七時から列の先頭に並んで入園させて頂きました。その時の主任はシスター鴨川いち子先生で、今でも事あるごとに励ましの言葉を下さり、直樹の成長に大きくかわつてもらっています。私にとってシスターはマリヤさまのような存在です。

直樹の入園が決まったら父親は延岡に転勤になりましたが、直樹の火傷の治療のことや幼稚園も「他の幼稚園では無理だ」と判断したこと、また環境の変化などが心配で単身赴任に決めた、職場の温情もあつて私と直樹とその下の子の三人で社宅に残りました。毎週往復十時間をかけて帰って来た主人にも感謝です。社宅でも、ねこのおばちゃんを始め皆に支援して頂きました。

当時の聖母幼稚園の園長先生は、私たちの結婚式を司式して頂いた美島神父でした。

「出合いが神さまからの最大のお恵みですよ」(鴨川先生)、今本当に実感しています。直樹は、幼稚園に入園できても教室にじつと座っていることがなく、教会に逃げていました。幼稚園での作業(お仕事)も何もできず、ファイルも二、三枚しか綴ることができなくてがっかりする私に鴨川先生は「直樹は今、じつとやるのがお仕事ですよ」とおっしゃって下さいまし

た。それでも私は直樹が皆と同じようにできないので「幼稚園を辞めないといけないですか」と聞いたところ、鴨川先生は「直樹を辞めさせたら聖母幼稚園はつぶれますよ」とニコリ。今でも思い出す笑顔です。

先生方は皆、温かく見守って下さいました。担任の白元先生は運動会の練習で直樹が走れないので、勤務終了後に天保山中学校の校庭で走る練習につき合っただけでした。本番では、泉広海先生がグラウンドの内側から「直樹、こっちは走ることができました。涙

が流れ、嬉しかった初めての運動会でした。年長さんでも担任の谷村先生が熱心に取り組んで下さいました。そして直樹の弟も年少さんに入園となりました。そのとき鴨川先生が純心短大の文珠先生を紹介して下さいました。私たちは週一回、文珠先生にす

べてを聞いて頂き、教えを頂きましたが、これは私たちがとつてまた最高の出会いとお恵みとなりました。「外で身体を使って遊ばせて下さい。体験をたくさんさせて下さい」これは文珠先生から最初に言われたことです。それから毎日、社宅の庭で時計

を見ながら一時間、くるくる回したり、ブランコに乗せたりして遊ばせました。文珠先生との約束だからと思いつきながら。そしてまた一か月ほどすると幼稚園の先生方から「直樹、変わりましたね」と言われ、またまた頑張るといふ毎日が続いていました。すると直樹から少しづつ言葉が出始めたのです。そして最後の運動会では、親子リレー種目の夫婦二人三脚を夜な夜な天保山中学校の校庭で特訓し、直樹を手車で走り、見事に一位に輝きました。走っている最中、美島園長の「直樹、頑張れ」の声に聞こえました。直樹が初めてゴールテープを切った時でした。

幼稚園の講演会で郡山神父さま(現司教)が「人に迷惑をかけるないように言

うけれど、皆、迷惑をかけるから生きていくのです」と話され、「直樹がいてもいいんだ」と思い、涙が止まりませんでした。

皆より一歩も二歩も遅れながらのお泊まり保育、運動会、聖母行列、クリスマス聖劇などなどでした。でも先生方はいつも直樹なりの役作りをして下さいました。私たちも文珠先生のもとに通い、いろんな体験をさせながら、アドバイスを頂きながら直樹と歩みましました。今、振り返っても直樹と共に学んだ聖母幼稚園時代でした。

最後まで読んで下さり、ありがとうございました。小学校、中学校、高校時代、またあすなろマジックのことはまた次の機会に。

大分教区司教叙階式参加巡礼

6月25日(土)~26日(日) (1泊2日)

参加費用：18,600円

募集人数：25人 (最小催行人員15人)

申込締切：6月18日(土)

25日(土)

ザビエル教会出発(8:30)→高速道路で熊本へ→阿蘇→やまなみハイウェイ→湯布院→安心院「いやしの里」(宿泊)

26日(日)

厳律シトー会(トラピスチン)安心院の聖母修道院(ミサ)→トラピストお告げの聖母修道院→いやしの里(昼食)→別府・叙階式参列(14:00)→ザビエル教会(21:30)解散

申込先：徳永善博委員 ☎090-3669-0423 (以下の各小教区担当者でも結構です)

桃菌淳一郎助祭(鴨池教会)、小浦雅敏委員・久留ひろみ委員(ザビエル教会)、當賢一郎委員・當二恵子委員(谷山教会)



美しい音色で奄美を慰問
マンドリンを携え長崎の野原博さん

カトリックの信者で長崎市在住のマンドリン奏者・野原博さん(六十七歳)が、五月六日から九日までの四日間、奄美市や瀬戸内町の特老、児童養護施設など五か所、また教会三か所で、マンドリンの美しい音色を披露して下さいました。

野原さんは長崎大水害(一九八二年七月)の際に、全国の方々から多くの支援を受け元気をもらったそうです。昨年十月の奄美大島の豪雨で被災した人たちのために何かしてお返しをしたいと考えられていたといひます。豪雨直後から「奄美へ行くころ」と考

えられていたそうですが、しばらく検討しているうちに今度は東日本大地震が起きて、これまでも実現できなかったそうなんです。野原さんは、演奏する曲や歌う曲を録音しておき、

それを流しながら約一時間、マンドリンを演奏したり歌を歌って下さいました。披露して下さいましたのは「叱られて」や「椰子の実」などの童謡や愛唱歌、アメリカ民謡の「峠の我が家」そしてナポリ民謡に「アヴェマリア」などの聖歌などなど。入所者や集まった信者たちの心を癒して下さいました。あるご婦人など「至福の時を過ごすことができました」とも言っていました。

この野原さんは、奄美大島を五、六度訪れておられるとのことでした。笠利の信者さんの稲牛憲さんとレジオナリエを通して二十年来の知人でもあられるそうです。そして長崎で開かれるフォコラーレで、島の婦人たちの中にも仲の良い人たちがおり、婦人たちが島内を案内して下さりました。(報告・平 三國)

神さまの愛を感じた！ 第3回宣教学校終わる 「私も宣教者に」と延べ60人が参加



五月二日(月)～四日(水)まで教区本部で「宣教学校」(ペンクレンシユ・ジャン神父顧問司祭・パリ外国宣教会)が開かれ、三日間で延べ約六十人の信者が宣教について学習した。
この宣教学校は「宣教できる信者」を養成するために世界各地で開校されているもので、鹿児島で開かれ

今年も様々な黙想会と研修会 マリア山荘がスケジュール発表

祈りの家「マリア山荘」(溝辺教会)では、この春、主任司祭が永山幸弘神父から坂本進神父に交代したことから、今年度のマリア山荘主催の黙想会等を次のように発表した。
定期的に同山荘で開催される研修会「キリシタンの信仰と霊性の歴史を学

ぶ、実勢に生かす集い」とし、坂本進神父の指導で毎月第一土曜日と翌日曜日の午後二時から四時まで開かれる。また六月からは「マリア山荘霊性センター黙想会」と題して次の研修がある。

① パストラルケアと信仰による癒し 六月十七日
② ミサ典礼と霊性 八月二十七日(土)～二十八日(日) 講師・サンタマリア神父(国分教会主任司祭) 申込・問合せは坂本進神父(マリア山荘) Ⅷ〇九九五―五八―二九九四)まで。
③ 聖母マリアの信仰 八月十三日(土)～十四日(日) 講師・寝占敦之神父(教区本部)

司教執務室便り

福者レオ七右衛門の執り成し

小聖堂のマリア様の足元には、三年前になされた日本司教団のバチカン訪問教皇謁見の場で、パパ様に献上した福者レオ七右衛門の肖像が安置してあります。そして、教会の祈りやロザリオのお祈りの中で、「福者レオ七右衛門、私たちのためにお取次ぎください」と祈ることにしています。ザビエル様をはじめいくつもの取次ぎを願う祈りをしてはいますが、これが一番短い。最近になって始めたことですが、これが意外な展開を見せつつあるのです。

実は、このご像、ザビエル様のご像と共にパパ様が「可愛いね」と頭をなでながら喜んでくださった「お墨付き」なのです。そういうこともあって、外国に出るときのお土産として定番化しつつあるのです。もう一つ理由があります。それは、「お墨付き」もさることながら「サムライ聖人」と呼んで誰もが喜んでくれることが分かったからです。ザビエル様のご像

と二種類持参していたのですが、最近ではもっぱら「サムライ聖人」だけにしています。

もう一つの意外な展開というのは、自分自身とつての変化です。鹿児島唯一の福者という誇りはあったのですが、毎日眺めながらこの短い祈りをする中で福者がこれまで以上に身近な存在になってきたのです。そして、ある時、ふと「信者たちも福者のご像を安置して同じ取次ぎの祈りを捧げたらどうだろう」との思いに駆られたのです。そこで、と、ある小教区に出かけたとき、福者のご像を持参したのです。そして、ミサ後、皆さんに披露し、マリア様の足元に安置して祈るよう提案して寄贈しました。すると、「パパ様献上」の宣伝が効いたのか、信者の皆さんも興味を示し、個人的にも欲しい旨の反応があったのです。

そして、先月の教区司祭会でも同様のことを話した結果、各小教区から注文を受け付ける方策が提案されたのです。こうして次々と意外な展開が喚起されたというわけです。早くも、福者が取次いでくださった?



短信

参加者たちは、「神の愛を伝えたい」という熱意に溢れた講師の話術と絵や小道具を使った工夫たつぷりの講話に引きつけられるように耳を傾け、自分たちに注がれている神の愛を体験し、またそれを周囲の人々に伝えていくことの大切さを学んだ。

吉野教会で洗礼式

復活祭には各地で新しい信者が誕生したが、吉野教会でも四年ぶりに洗礼式があった。



吉野教会(牧山田一神父主任司祭)の復活徹夜祭で

+KABAYAN SEKSIYON+ "PAGLALAHAD"

Ang katotohanang dulot ni Kristo ay parehong isang *kaloob* ng Diyos at isang *tungkulin*. Bilang kaloob, ang katotohanan ni Kristo ay parehong nagbibigay-buhay at nagpapalaya. "Kapag kayo'y pinalaya ng Anak, tunay nga kayong malaya". Gayundin, ito ay isang patuloy na tungkulin ng 1) katotohanang *pinagninilayan*, at 2) *ipinahahayag* ito na ng may kagitingan. Kailangan din nating unti-unting matutuhan na kilalanin ang "*kaibahan* ng espiritu ng katotohanan mula sa espiritu ng kamalian" (1Jn 4:6). "Sapagkat ang taong di-nagtataglay ng Espiritu ay ayaw tumanggap ng mga kaloob mula sa Espiritu ng Diyos... nauunawaan ng taong nagtataglay ng Espiritu ang kahalagahan ng bawat bagay" (1Co 2:14-15). Sa sandaling makilala, kinakailangan nating "magsalita ng katotohanan sa diwa ng pag-ibig, mag-ingat kay Kristo na siyang ulo" (Ef 4:15). Inihahatid sa atin ng doktrinang Katoliko ang katotohanan ni Kristo. Sa katotohanan ito nasasalig sa tamang pag-uugali ang ating *pagsamba at pananalangin*. *Una*, tungkol sa asal-pamumuhay, batid nating tayo ay nakatalaga sa katotohanan kung ating tinutupad ang mga utos ng Diyos. "Ito ang kanyang utos: manalig tayo sa kanyang Anak na si Jesu Kristo, at mag-ibigan, gaya ng iniutos ni Kristo" (1Jn 3:23). "Patay ang pananampalatayang walang kalakip na gawa" (San 2:17). *Ikalawa*, bilang mga Katoliko, "dapat tayong sumamba sa Espiritu at sa katotohanan" (Jn 4:24). Ang tunay na pagsamba ay maiaalay lamang sa pamamagitan ni Kristo, sapagka't kailanma'y walang nakakita sa Diyos, subalit ipina kilala siya ng bugtong na Anak-siya'y Diyos-na lubos na minamahal ng Ama" (Jn 1:18). Samakatuwid, para sa mga Pilipinong Katoliko, ang maniwala kay Kristo ay nangangahulugan ng pagkilos, pagdama, pag-asa, pagtitiwala, pag-ibig, pananalangin-lahat ay tinataguyod at binibigyang-sigla ng isang pangunahing paninindigan. "Tisa ang Diyos at isa ang tagapamagitan sa Diyos at sa mga tao, ang taong si Kristo Hesus na naghandog ng kanyang buhay upang tubusin ang lahat" (1Tm 2:5-6). Sa madaling salita: "Panginoon si Jesus". "At hindi rin masasabi ninuman, Panginoon si Jesus, kung hindi siya pinatutunayan ng Espiritu Santo."

Katekismo-Pilipinong Katoliko (Fr. Dino Orolfo)

▼寝占五郎さん
寝占敦之神父(教区本部)の厳父・寝占五郎さんが四月二十七日(水)午前、肝臓がんのため入院先の伊達病院(薩摩川内市)で亡くなった。九十歳だった。五郎さんの葬儀は、四月二十九日(金)川内教会でしめやかに執り行われた。

受洗したのは永谷典久さんと保岡健一郎さんの二人。二人は郡山司教司式のミサの中で洗礼と堅信の秘跡を受け、参列した信徒と喜びを分かち合った。

6月会と催し

- 5日(日) 主の昇天
- 12日(日) 聖霊降臨の主日
- 19日(日) 鹿児島連合壮年会総会と懇親会・ザビエル教会ホール・16時 ※懇親会18時(会費千五百円)
- 20日(月) パッションの会・鴨池教会・15時
- 21日(火) 三位一体の主日
- 24日(金) レデンプートル会例会
- 26日(日) 奄美例会
- 27日(月) 洗礼者聖ヨハネの誕生
- 28日(火) キリストの聖体
- 29日(水) 聖ペトロ使徒座への献金
- 29日(水) 聖ペトロ使徒
- 29日(水) 聖ペトロが洗礼名の司祭
- 29日(水) 美島春雄神父、竹山昭神父、永山幸弘神父
- 29日(水) 聖パウロが洗礼名の司教・司祭
- 29日(水) 糸永真一名誉司教、小隈憲士神父、アン神父、坂本進神父

研修のお知らせ

- ホリスティック(人格)医療黙想 「ホリスティック聖書講座」 坂本進神父 6月20日(月) 10時～12時
- ザビエル教会一階ホール 五百円 連絡先〇九〇―三一九三―〇一四八(古城)
- ホリスティック・スピリチュアルケア講座 「ホリスティック聖書講座」 坂本進神父 6月21日(火) 18時30分～20時30分 ザビエル教会集會室 連絡先〇九〇―五七三九―四六五〇(松崎)

※両講座とも聖書持参のこと

カタリナ永俊尼の信仰 (下・②)

溝辺教会主任司祭 坂本 進

3 天草の乱の経過と戦後処理

さて、天草の乱の経過を追ってみましょう。はじめ、地方の軽い百姓一揆とたかをくくっていた幕府も、一揆の拡大を知るに及び乱の重大さに驚愕し、上使に幕臣・板倉重昌を遣わし、鍋島・細川・有馬・立花らの九州諸大名を参戦せしめて九州連合軍を結成させ、鎮庄に向かわせることを決定したのでした。しかし、十二月二十日の決戦に敗北。幕府軍は戦死者二千人を出すに至ったのです。それに反し、一揆軍戦死者は三人であつたと記されています。翌年正月一日の総攻撃にも幕府軍は敗北を喫し、幕府連合軍戦死者四千、一揆軍戦死者九十人と記されています。幕府軍総大将であつた板倉は討死したのです。これより前の十二月はじ

め、幕府は、わずか一万石の身代の板倉を総大将にして送ったことの誤りを反省し、大物である老中松平信綱を天草の乱鎮圧の総大将とさせ、江戸を出発させていました。信綱は正月三日に十二万の大軍を率いて島原に到着。彼は、一揆軍を籠城させる戦術を取り、遂に二月二十八日、一揆軍を降伏させ、首領である天草四郎以下一揆軍三万八千全員を獄門に処したのです。

4 カタリナと天草の乱との関係

天草の乱には、種子島に随行していたカタリナの側近・皆吉良右衛門の父・久右衛門が加わっていました。一説に、カタリナはこの久右衛門能統の娘であるとも言われていますが、いづれにしても、カタリナの縁につながる者が天草の乱に参加していたということ、カタリナの身に災厄をおよぼさずには置きませんでした。

良右衛門とその家族は、早速、種子島から鹿児島に移され、次いで江戸へ送られ、全員斬罪に処せられたのです。連座です。カタリナが先夫との間に生んだ娘の妙身も、翌寛永十六年六月、婚家の薩摩藩家老喜入忠政に離縁され、娘の御満津(於婦理)、御鶴 共々、種子島に流刑されるに至りました。しかし、当のカタリナには、何のお咎めもありませんでした。以後、十一年間、カタリナは種子島で観想(祈りと執り成し)の生活を送りました。信仰を信念にまで高め、壮烈な生き方を貫いてきたカタリナには、幕府も薩摩藩も、手が出せなかつたのでしょう。聖母マリアと天使のご加護があつたに違いありません。

みことば シリーズ

家族で心をひとつにして求めよ!

終身助祭 久保俊弘

私は教員時代は決して真面目ではなく、監督していたテニスに明け暮れ、また定期テストの時ともなると午後は授業が休みなので研修会を出して帰る道にパチンコに行つたものです。その日もパチンコに行く途中のことでした。妻と子ども三人は黙想会に行つた帰りで、パチンコ

カタリナの霊的生活、及びカタリナの信仰をつちかつた小西一族の信仰についてお話しし、信仰養成のための参考に供したいと存じます。



文

短歌

奄美市 林 常広
聖母月ロザリオ才唱え沖繩の日本返還
平和の祈り
奄美市 林 明子
夫は言ふ挫折あつてこそ立ち上がり
武道家のたましいかな
瀬戸内町 豊島 忠司
シスターが整形外科の椅子に掛く横
顔美しき謙虚さを秘め
純心学園 川上 和
瓦礫野の津波に耐えし老木の一人
ぼっちの梅花開けり
鹿児島市 前田 儀子
祭壇のグラジオラスはひとつひとつ
長き花軸に朱の花咲かす

芸

ユダヤ人への迫害証す印ともプリー
モレージユの墓標の数字
愛光園 春山マリ子
十年目乗り切る足の痛み耐え花摘む
野辺に今日の幸せ

俳句

純心学園 川上 和
瓦礫背の子どもの笑顔鯉のぼる
鹿児島市 徳永ノブ子
友来たり喜びに満つ復活祭
被災者の手向ける花や母子草
瀬戸内町 豊島 忠司
ハイビスカスや黒蝶ゆたに吹かれけり
霧島市 政 ノブ子
清清しチャペルの鐘や五月晴
出水市 沖 弘子
薔薇剪つて聖母に供花として排す

純心学園 山頭 信子
かもめ舞うお別れ神父テープ引く
復活祭ベールゆれたり洗礼式
愛光園 春山マリ子
花見頃こぼれ落ちそな桜散る

詩

始良市 みはら せい
友
「今朝、起きてみると
ブロッコリーの葉が
すべて、ヒヨドリに食べられていてネ
だけど、
わたしの食べる分は
ちゃんと、残っていたの
ヒヨドリの思いやりよね」
と、言つて
友はこころ笑つた

奄美最初の宣教師

フェリエ神父の墓参

浦上教会 平 三國

「奄美福音宣教百周年記念誌」に一九九一年(明治二十四)十二月三十一日フェリエ神父(パリ外国宣教会)が鹿児島より「木曾川丸」でカトリック宣教師として初めて奄美の福音宣教のために来島、伊津部(名瀬)の伊地知武元氏宅に宿を取り矢之脇の名瀬尋常小学校で講演する。十日間滞在して福音を述べたフェリエ神父の講演に名瀬殆どの住民が参集し多大の影響を与える、と載っています。



フェリエ神父の墓

神父様は十五年間奄美で宣教された大恩人です。私の叔父の勝久堯義は百四歳の長寿をまつとうした人ですが、神父様から三歳の時受洗したそうです。その恩情に少しでも報いたいと長年にわたり年金を貯金して、神父様の胸像を作製して名瀬教会に寄贈しています。また記念誌等で神

翌年の全国大会ではゆるしの秘跡を授けて下さつた神父さまに妻とマリッジ・エンカウンターへ行くよう進められました。ME(マリッジ・エンカウンター)は、結婚の見直しの研修会で、郡山司教様も指導されていた会です。私は結婚生

活に何も問題を感じていませんでしたし、必要とも思わなかつたのですが、妻が乗り気だったので参加しました。参加してみても分かつたのは、妻と私の考え方がまったく違つていて、そして頻りに話し合う必要性に気づかされたことでした。

子どもの教育の問題など話すことは山ほどあつたのに、「レジオだ」「クルシリヨだ」とか言つて教会にはかり行つていた私にMEの指導司祭は「家庭が一番大事」と教えてくれたのです。そして指導司祭の勧めのようによつての活動から身を引くことにしました。そしてそれまで「風呂」「飯」「寝る」くらいしか妻とは言葉

父様が一九一九年(大正八年)一月二十六日熊本にて帰天されたことを知るにつけ、一度は墓参りをしたいものとかねがね思つていました。四月十一日(月)福岡県宗像市で「旧ザビエル聖堂の再生祝福式」があり、その帰途に熊本市へより、墓参りをするのができました。納骨堂で神父様から「國太郎の孫か、よく来たね」と言われた様な気がしました。これで気掛かりが一つ叶いました。母国を遠く離れ日本の地に眠る神父様は洗礼を授けた大勢の霊的子どもたちと一緒に天国で至福に浸つていてのことでしょう。